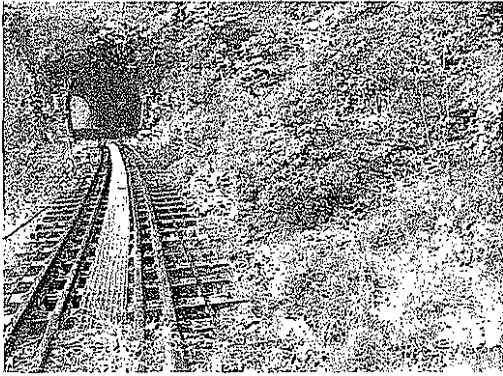
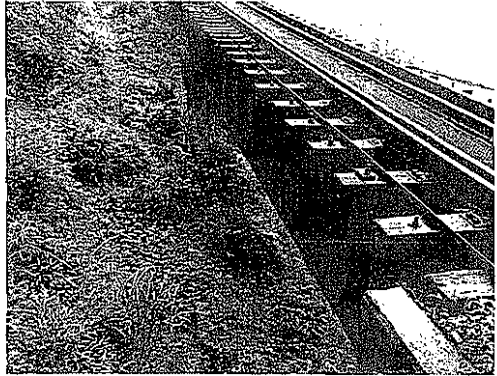
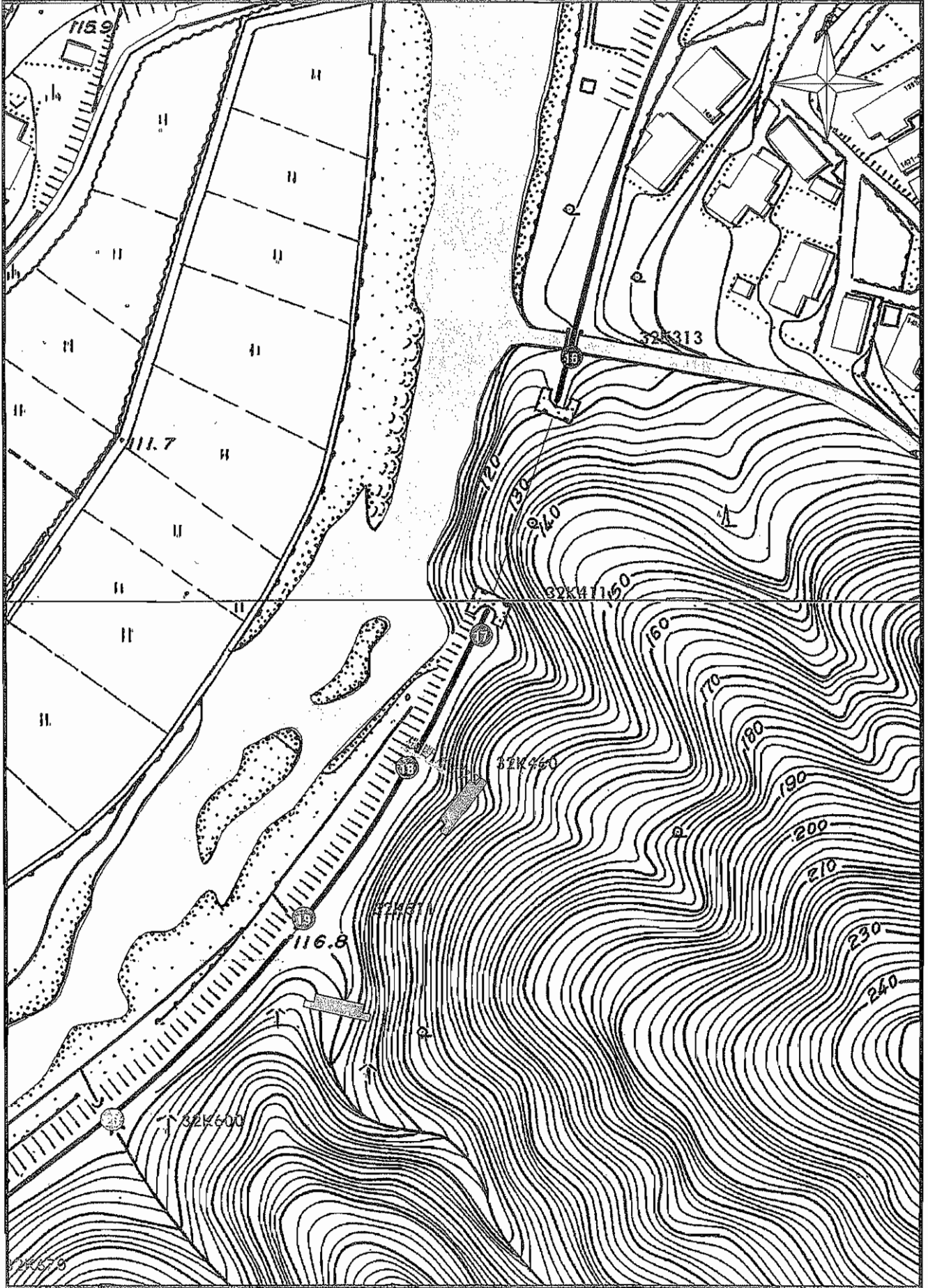


JR名松線被害箇所調査表



調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.17	32k411m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（橋梁下に堆積）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	上流からの土砂は橋梁の下を流下している。 橋梁直下の堆積土砂を除去し、土砂流下能力の向上を計ることが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
		○			小
写 真					
					
全 景			橋梁下の溪流		



JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.18	32k460m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（線路道床 ）
既設対策工他	なし				
コメント	山裾にJR側溝はあるが、上方から流入する土砂が排砂されないことから線路横断水路の新設が必要である。谷止工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎		○		大
写 真					
					
上方溪流			土砂の流入		

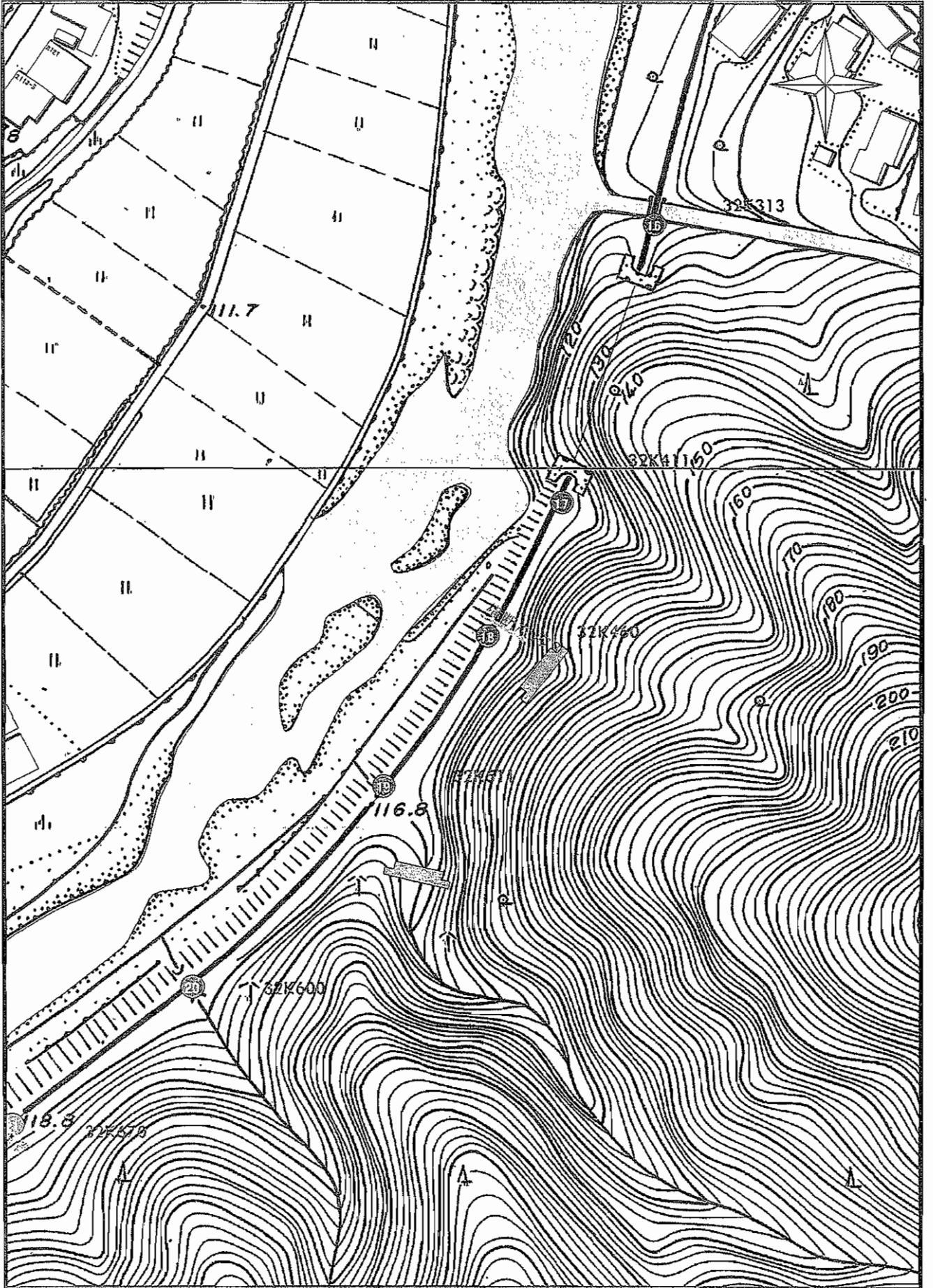
26305

位置图

26580

114

1



100

1

26305

1:1500

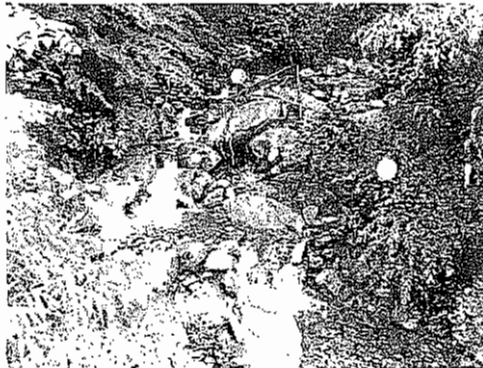
26580

JR名松線被害箇所調査表

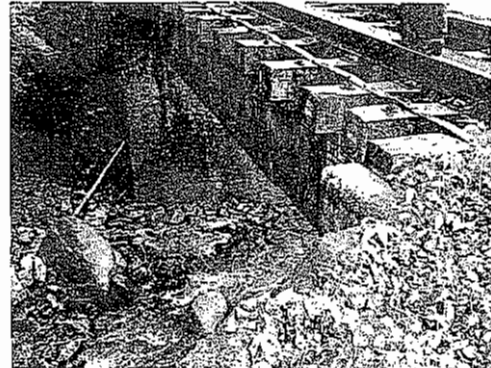
調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.19	32k511m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（溪流に堆砂）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	橋梁下は十分な断面が確保されており、今回も被害は出ていない。 溪流右岸の崩壊は直接線路に影響を与える可能性は小さく、対策工を実施する場合は、覆い式落石防護ネット等により保護する方法も考えられる。 谷止工の新設が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
			○		小

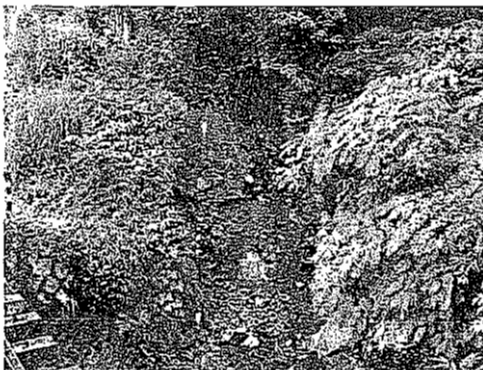
写 真



流路堆砂状況



橋梁下溪流



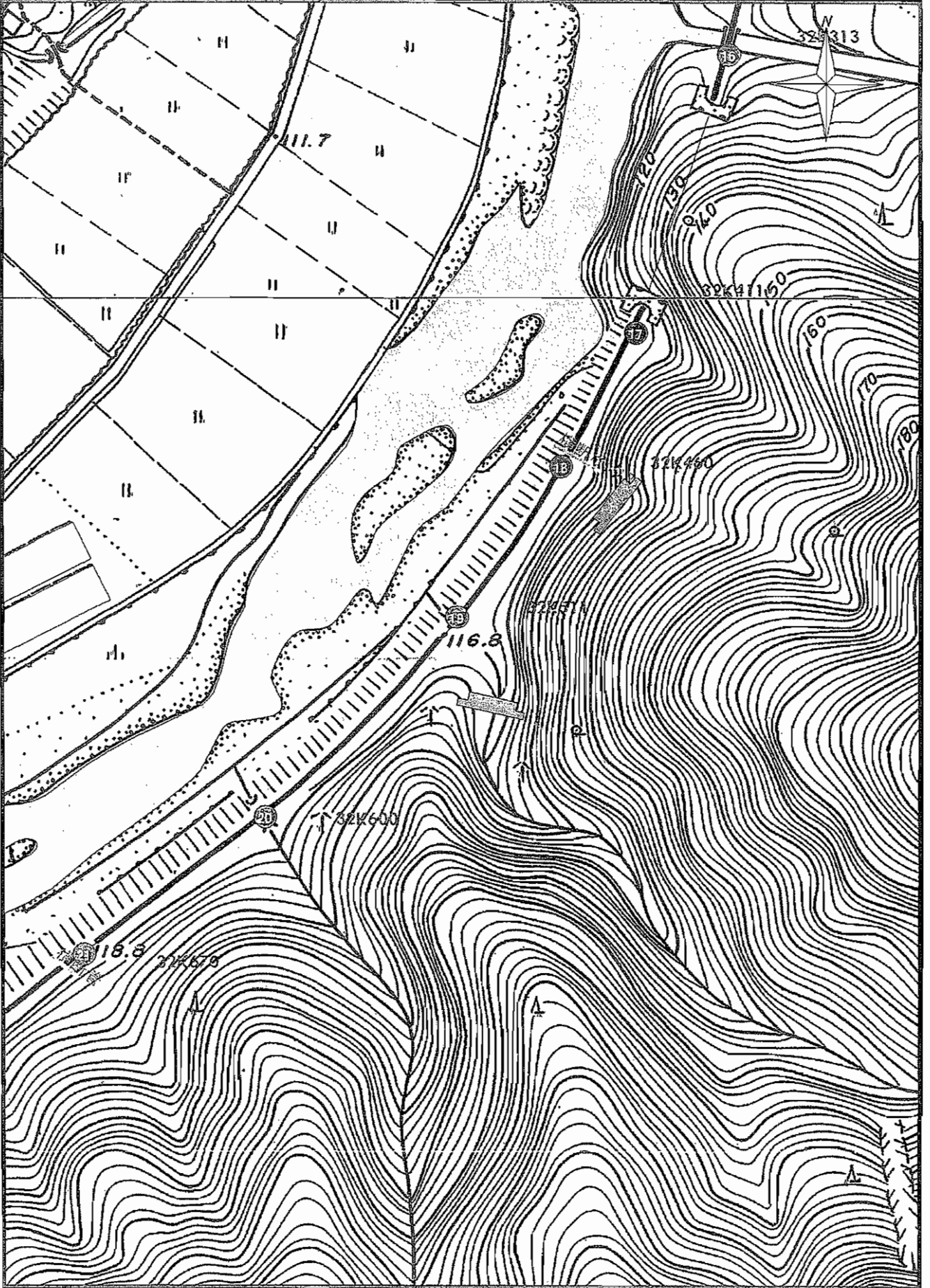
溪流右岸崩壊

26283

位置圖

26558

165



26283

1:1500

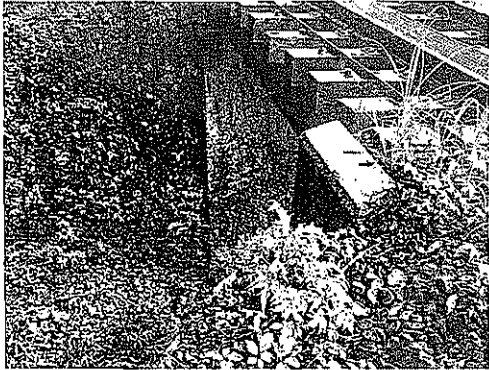
26558

150

1

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区間		線路との位置		
No.20	32k600m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（溪流に堆砂）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	今回の台風時の豪雨にも土石流が流下しているが、土砂の堆積はなく被害も出ていない。 このため、流下能力の確認が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	既存橋梁流下能力の確認				小
写 真					
					
橋梁下溪流					

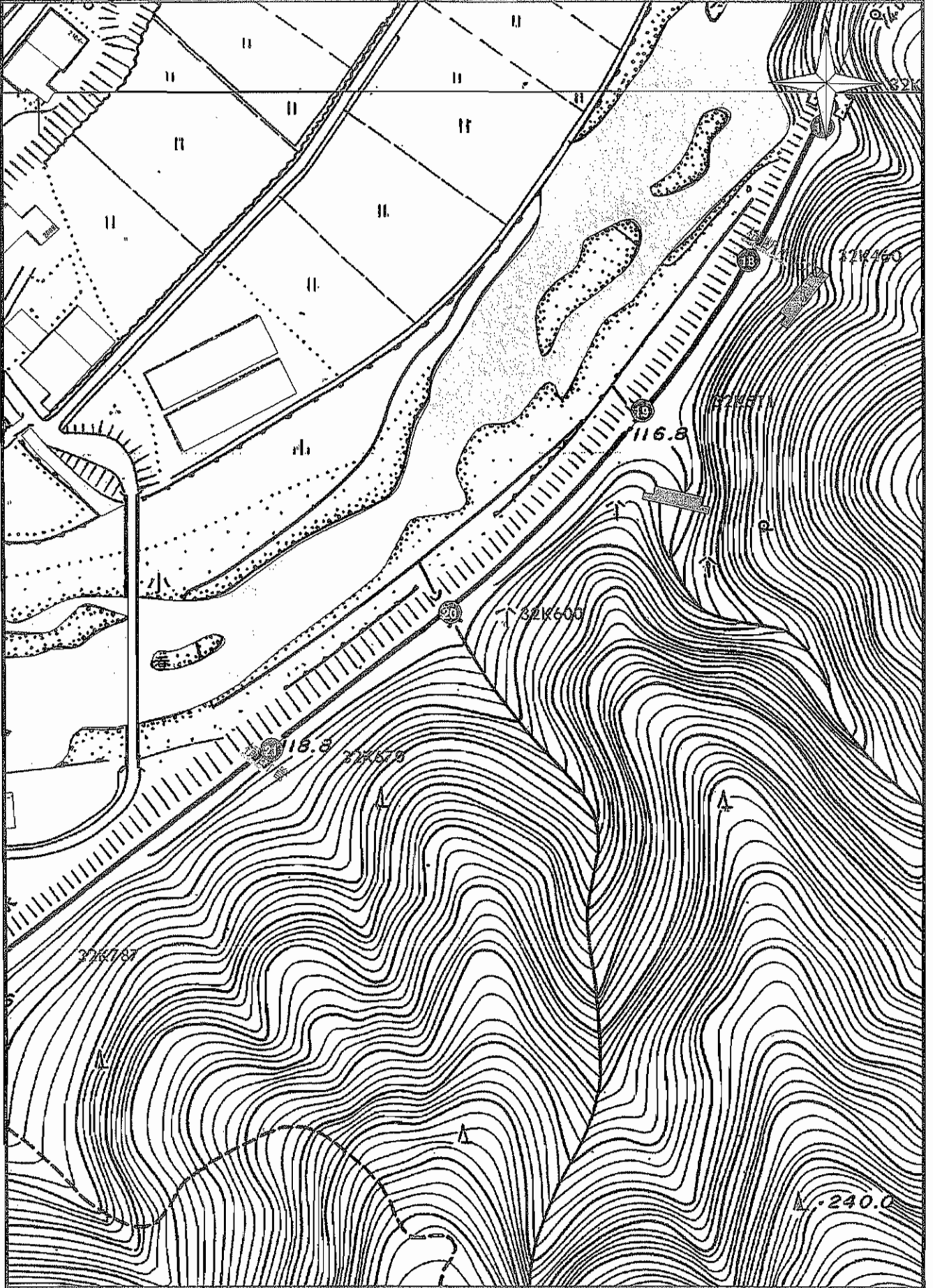
26227

位置图

26502

26

-1



12

-1


26227

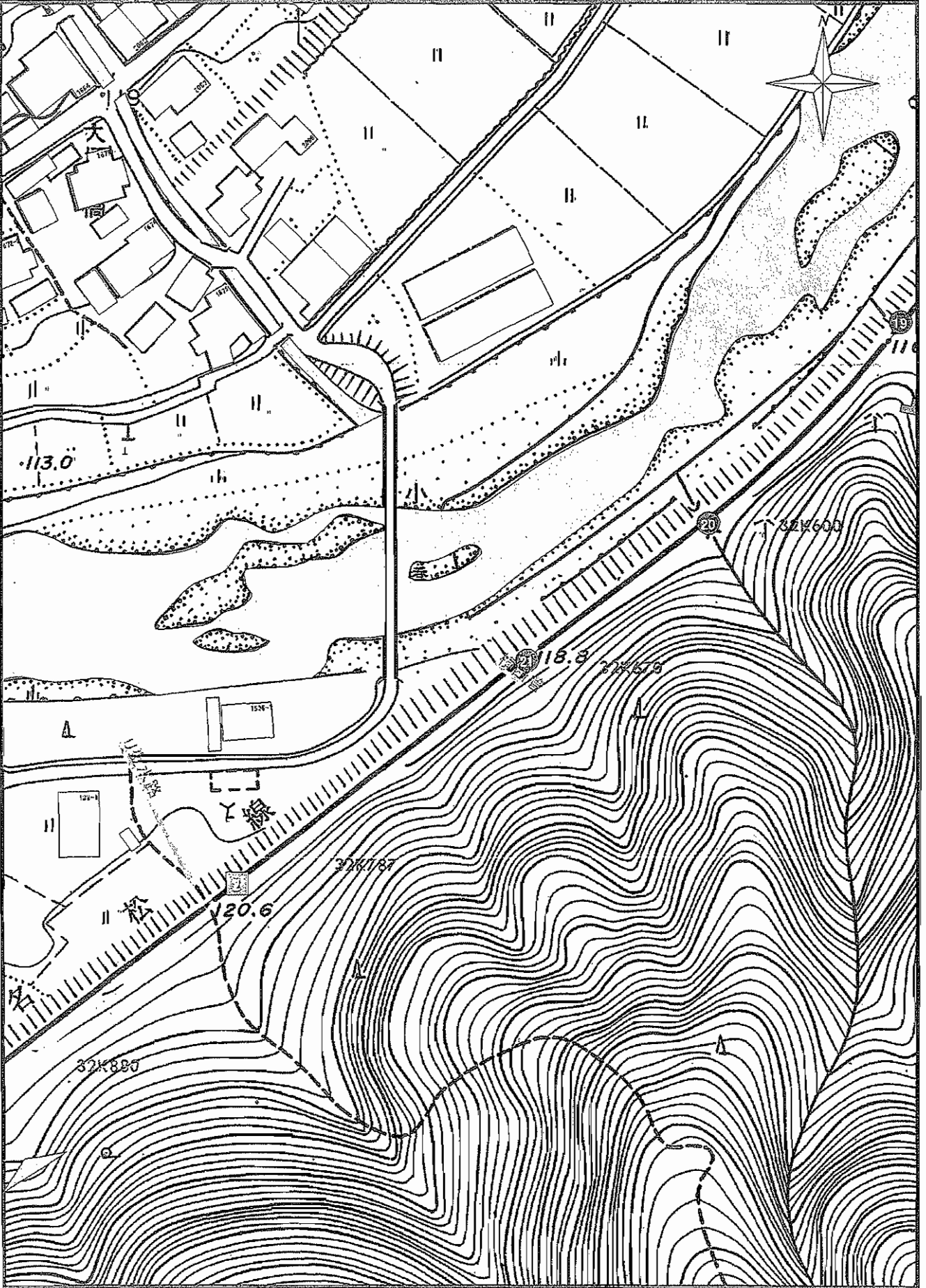
1:1500

26502

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月15日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.21	32k670m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	擁壁				
コメント	溪流は露岩するが、両脇の斜面は土砂が分布し、その上には共に遷急線がある。 流木と大きな石は擁壁で停止している。 今後も豪雨時には土砂の流出が想定される。 擁壁を山腹に接続し、擁壁背面の土砂をしゅんせつするか、かさ上げすることが必要である。 線路横断管の新設が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎	◎			大
写 真					
					
土砂（マサ）の流入			擁壁背面の堆砂		
					
溪流は露岩			山腹には土砂が分布		

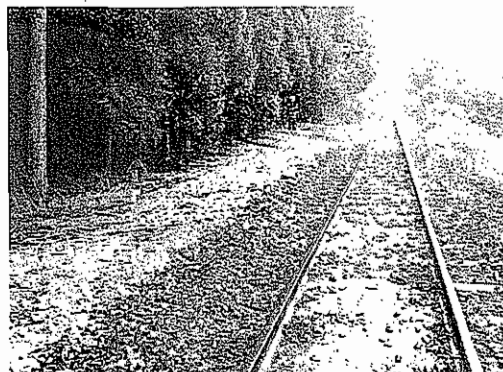


JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月15日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.22	32k880m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	山腹急斜面と線路の間には緩斜面があり、溪流より流出した土砂はここに扇状地状に堆積しているが、細粒分だけがガリーから線路へ流出している。溪流出口から下流側の既設横断水路まで水路を新設する必要がある。山腹工を新設することが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎			○	中

写 真



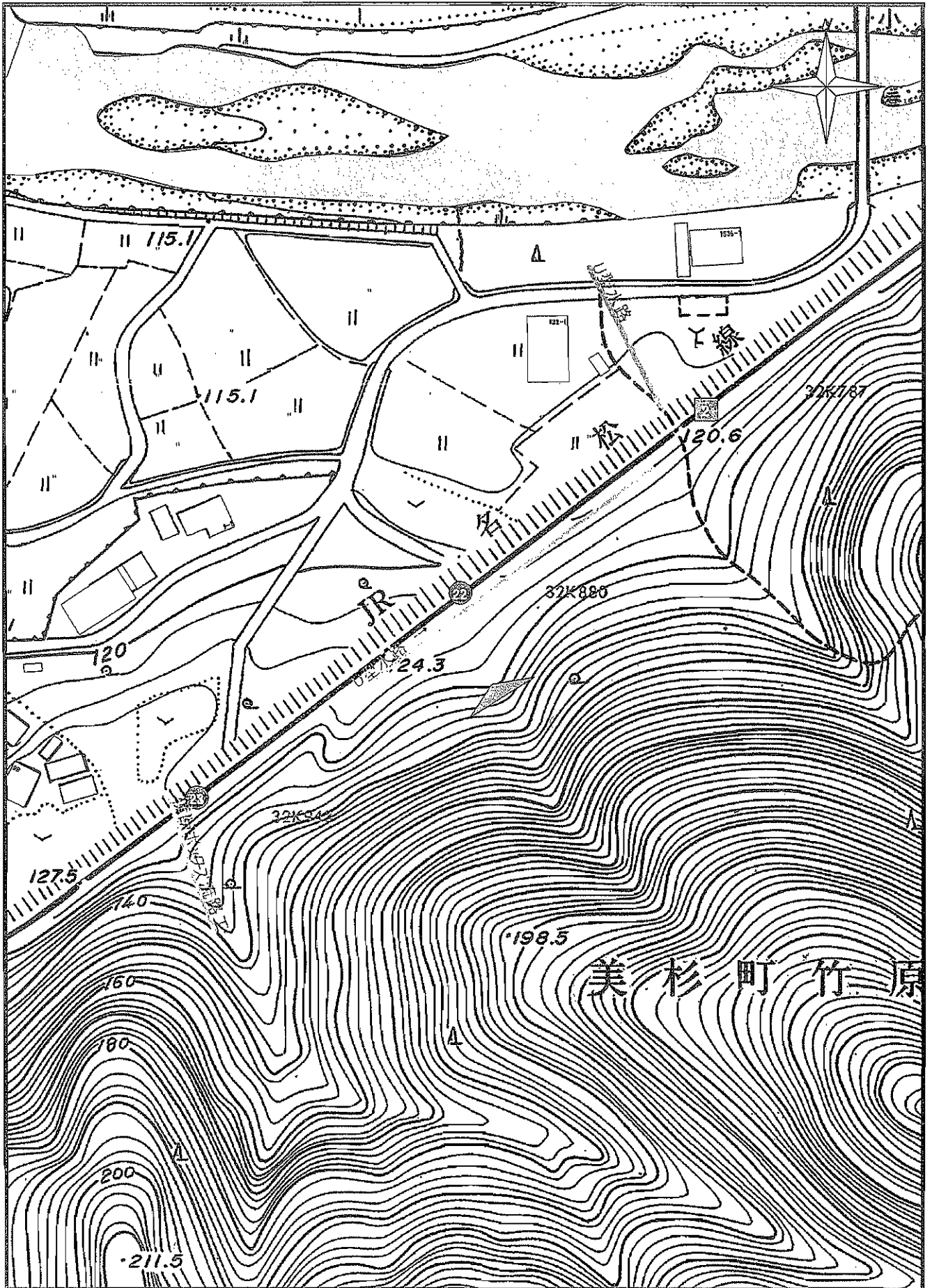
土砂（マサ）の流入



溪流出口

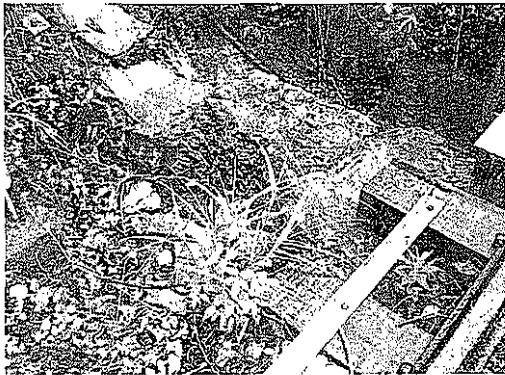
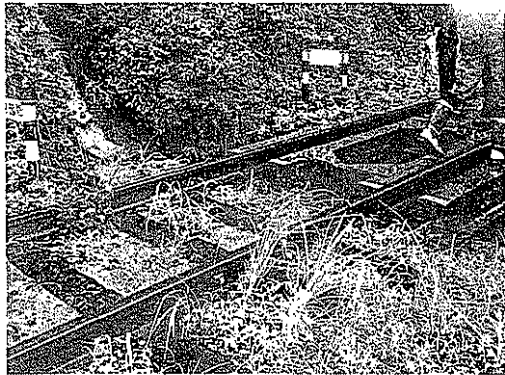


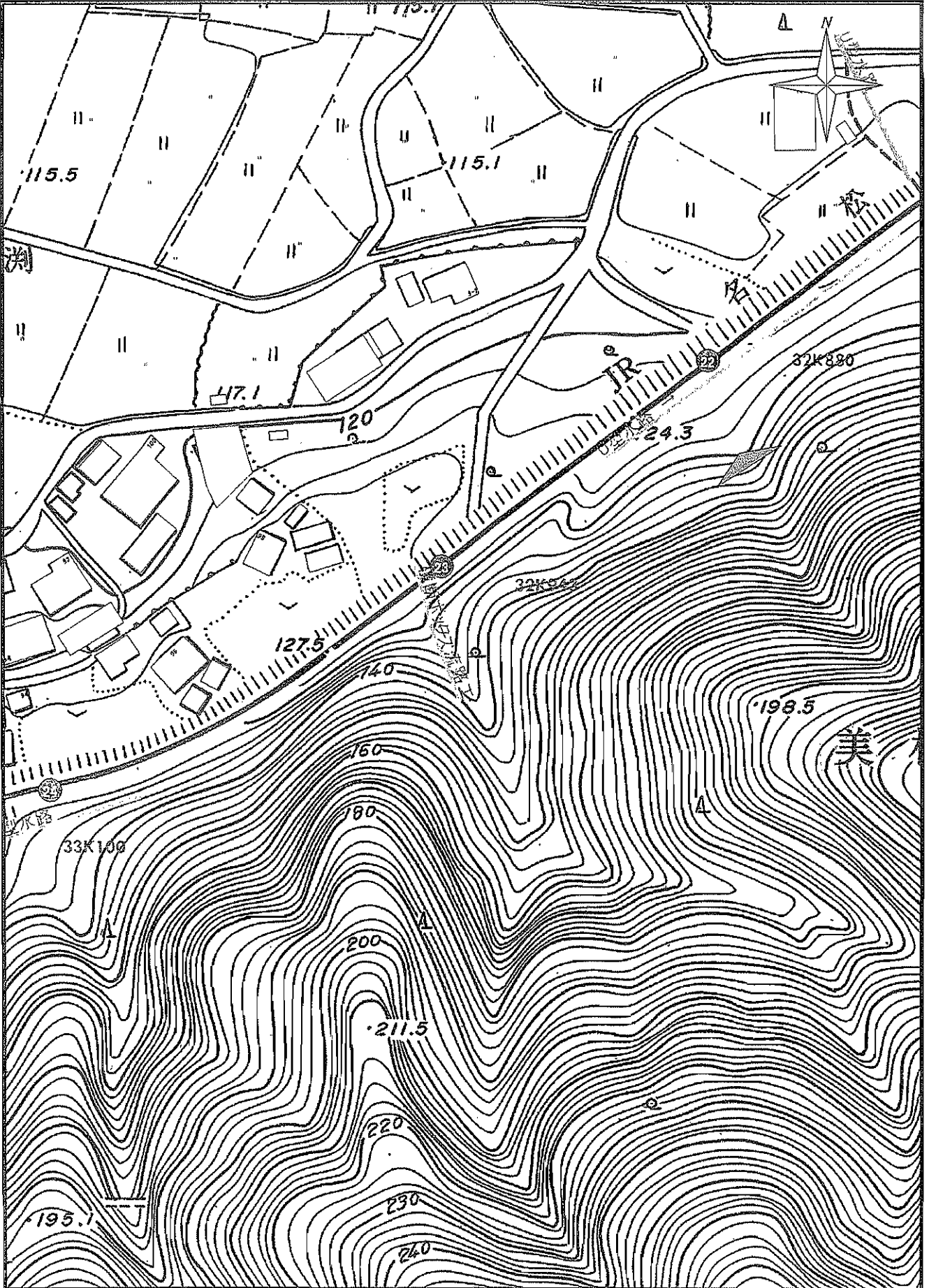
扇状地状堆積物のガリー



JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.23	32k943m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（線路道床）
既設対策工他	なし				
コメント	上流谷止工にはまだ堆砂容量がある。 直上流路工と線路横断水路の拡幅が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○				小
写 真					
					
少量の土砂流入			線路横断水路		

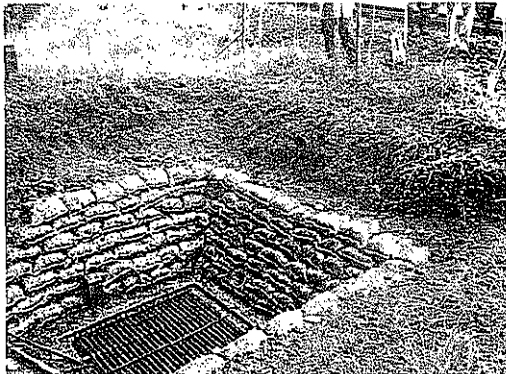


JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.24	33k100m付近		左		
被災要因	土砂流入 (道路から)		土砂流入 (溪流から)		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他 ()
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他 ()
既設対策工他	伏び				
コメント	伏びが流出土砂により閉塞した。 開水路等の新設が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				中

写 真



閉塞した線路横断水路 (伏び)

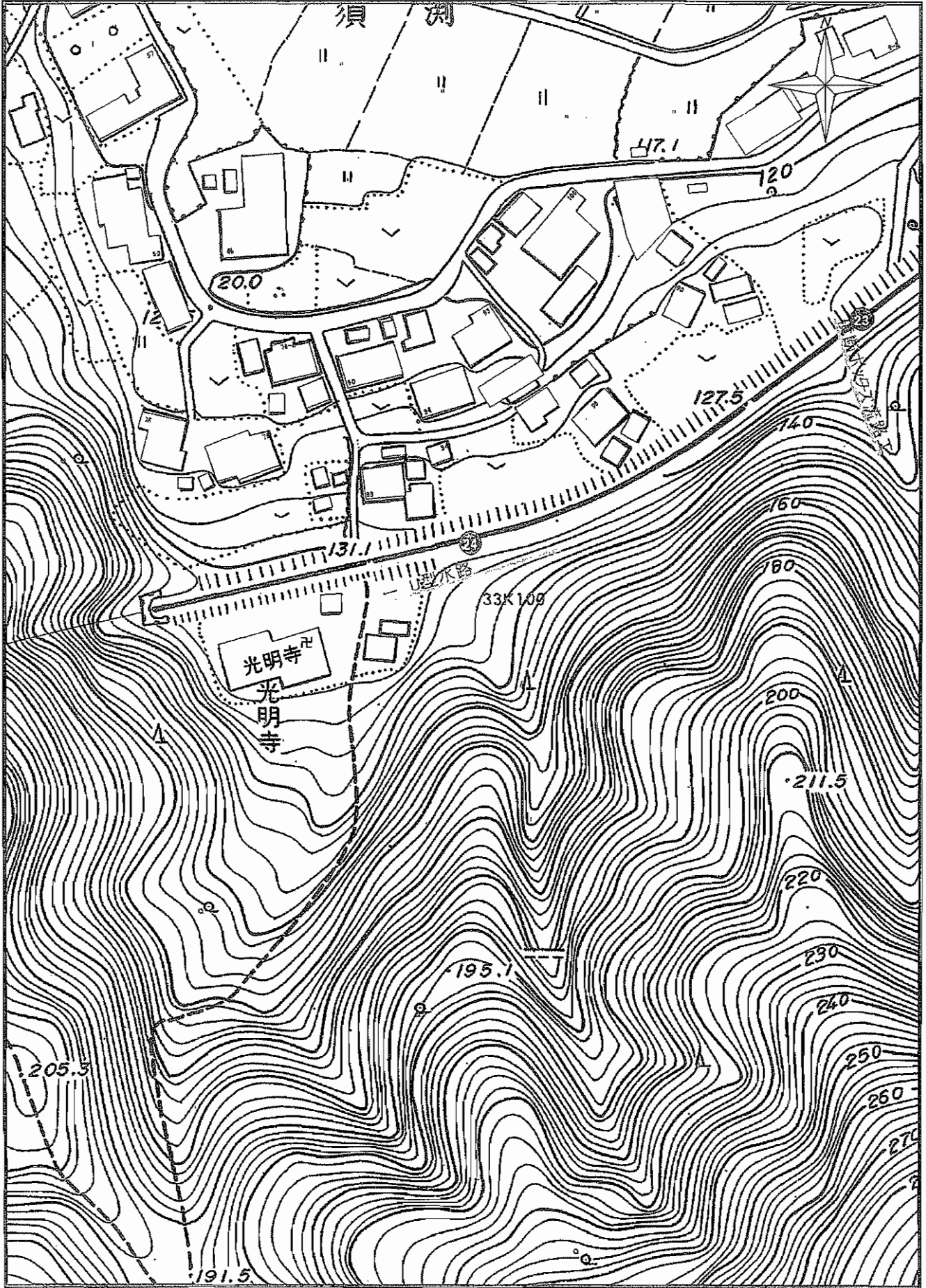
25808

位置图

26083

140

-1



125

-1

25808

1:1500

26083

JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月15日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.27	34k841m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（流路工に堆砂）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩	その他（ ）	
既設対策工他	流路工・谷止工				
コメント	山腹には3箇所の崩壊が認められるが、これらは非常に薄く、土砂の分布が薄いことを表している。 既存の谷止工は満砂しており、谷止工を下流側に新設することが望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
			○		小

写 真



流路工



既存の谷止工は満砂



山腹はごく薄い崩壊が3箇所認められる

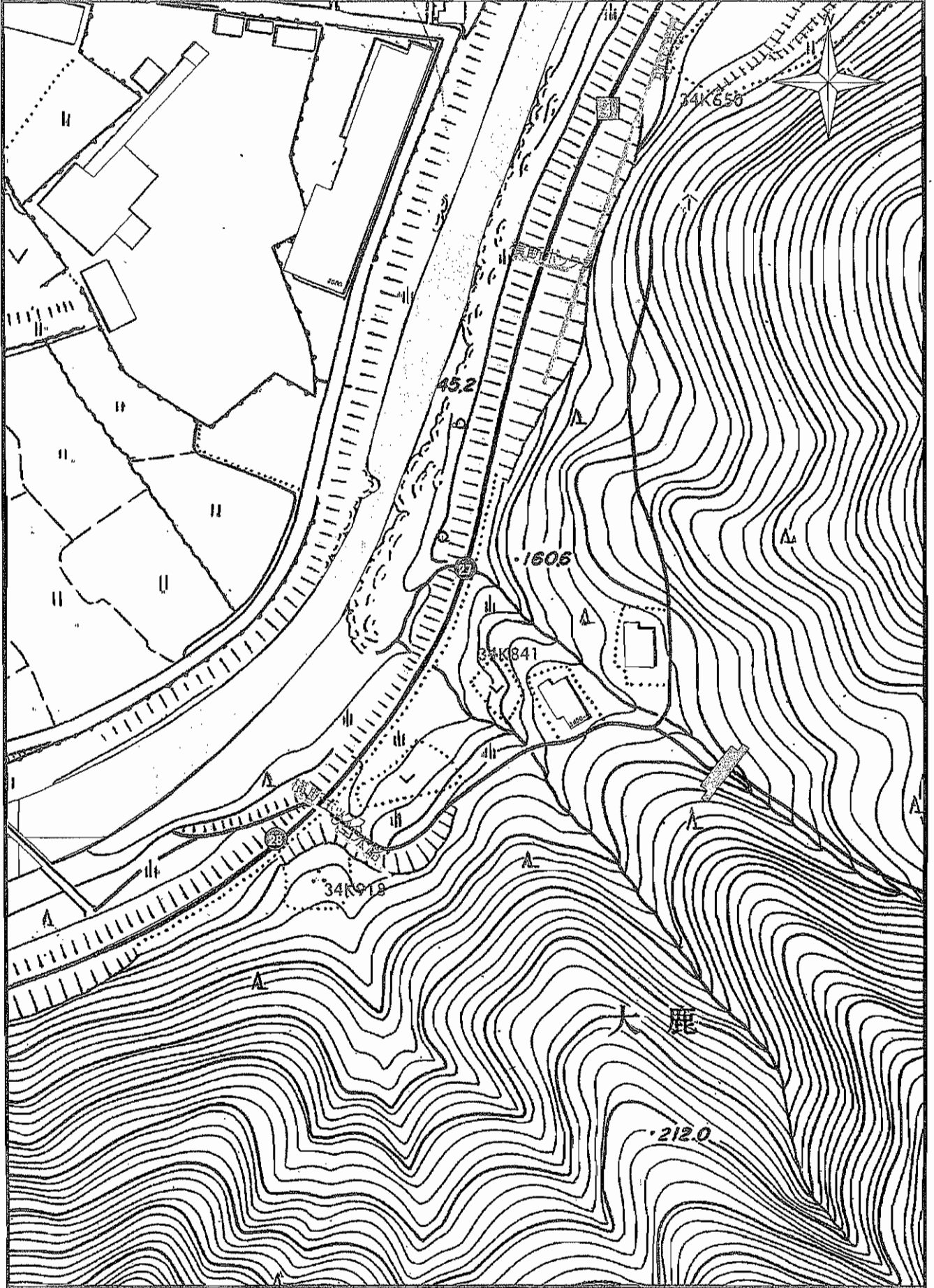
25235

位置图

25510

103

-1



188

-1

25235

1:1500

25510

JR名松線被害箇所調査表

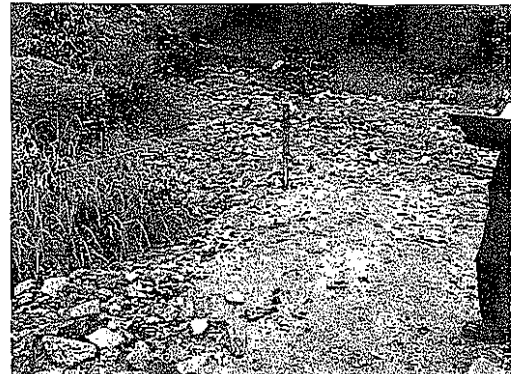
調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.28	34k918m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	大礫（φ64～256mm）以下の礫とマサが小溪流から流出、堆積している。溪流出口からの水路新設と線路横断水路の拡幅が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎				大

写 真



土砂の流入



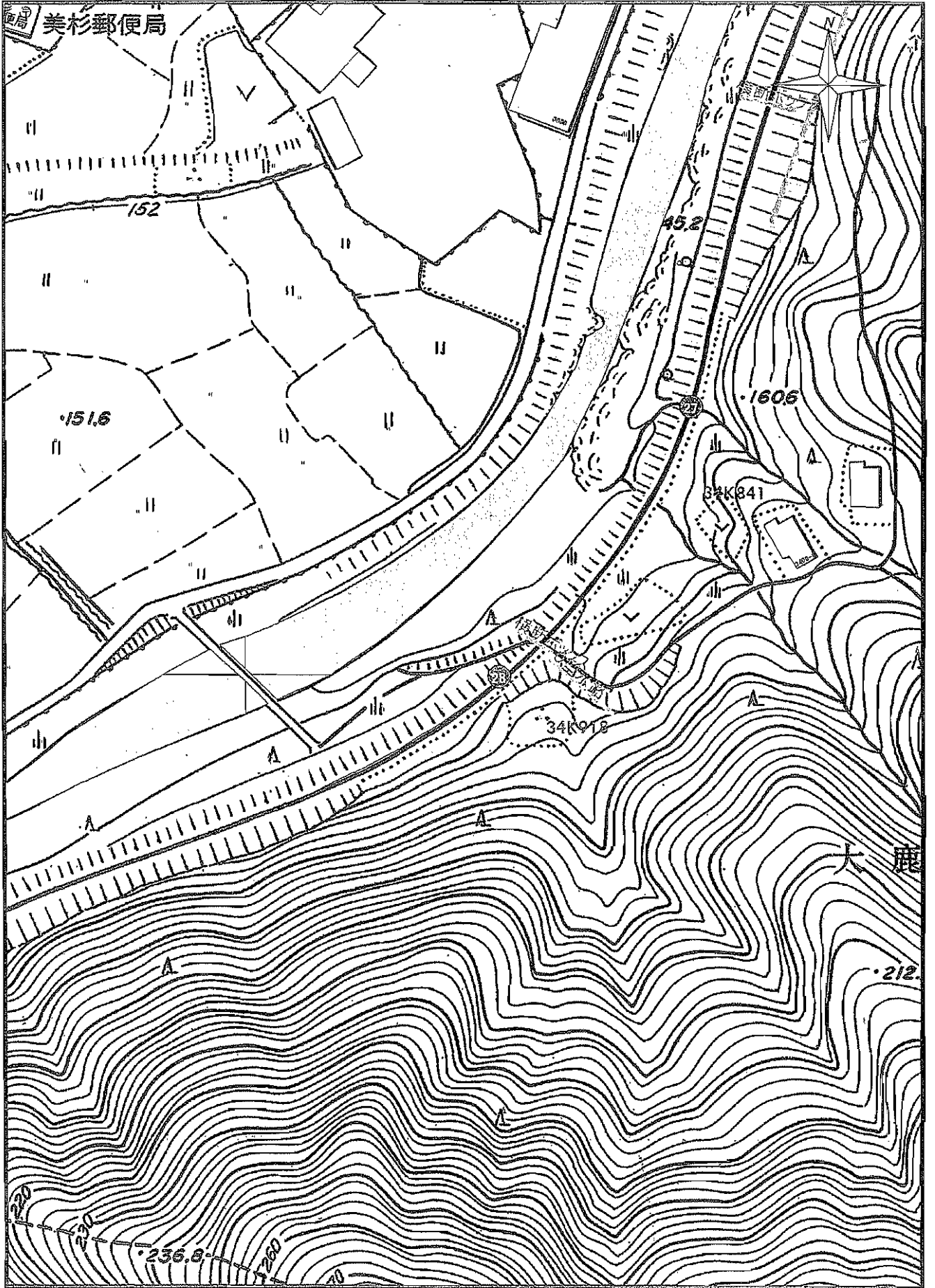
溪流からの土砂堆積



溪流出口

152

-1



137

-1

JR名松線被害箇所調査表

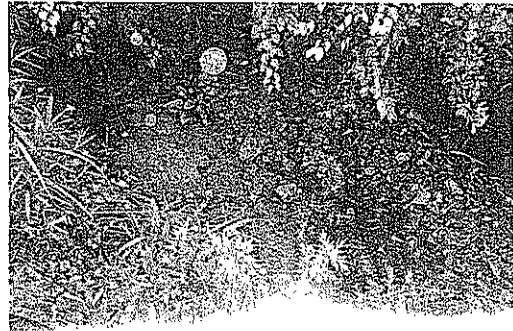
調査日2010年7月3日

箇所番号	区間		線路との位置		
No.29	35k263m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	流路工				
コメント	上流の溪流には土砂が堆積している。 線路横断水路は直上流水路の断面より小さく（JR写真）、線路横断水路の拡幅が望ましい。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	○				小

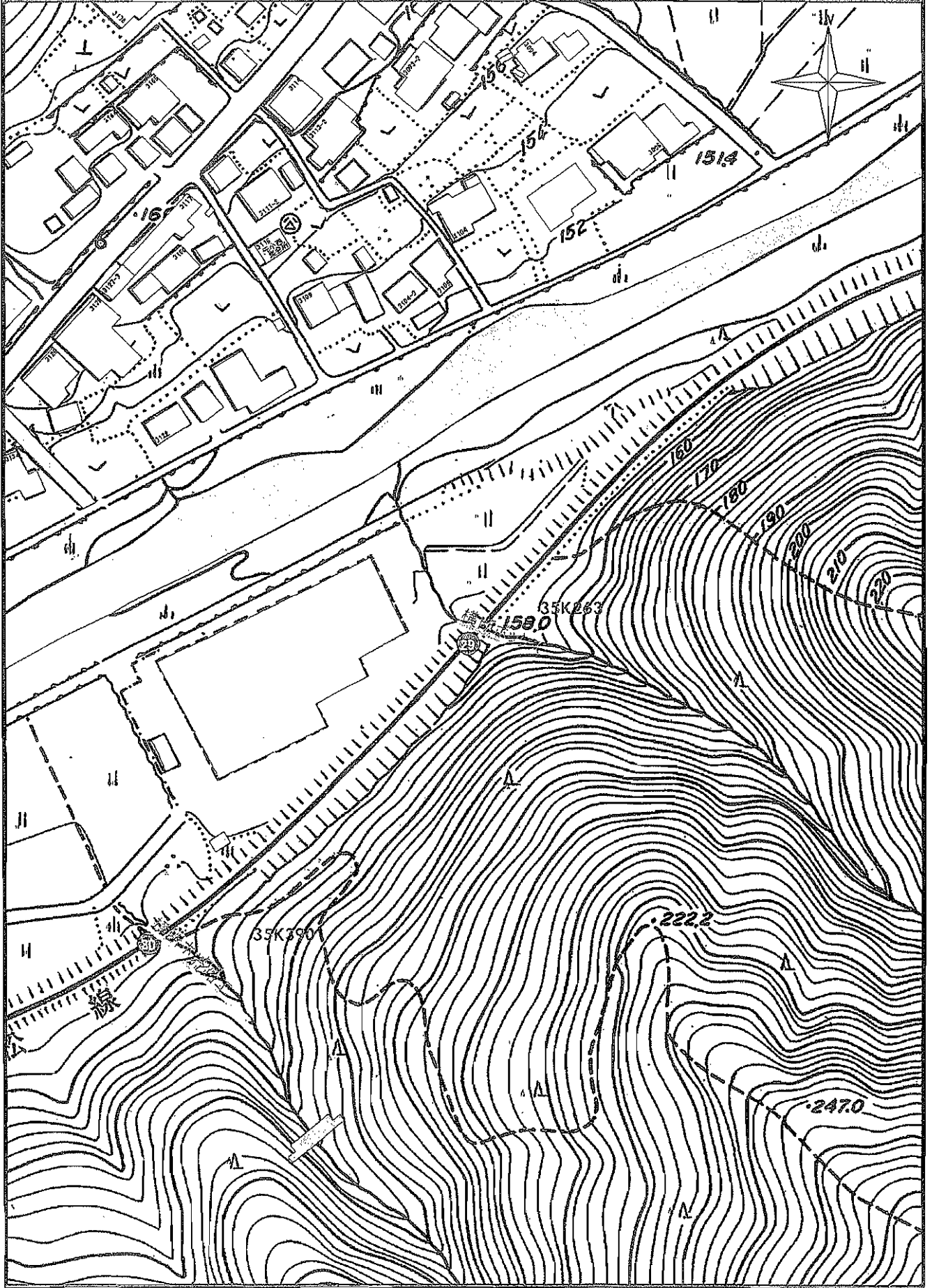
写 真



線路横断水路



上流水路



JR名松線被害箇所調査表

調査日2010年7月3日

箇所番号	区 間		線路との位置		
No.30	35k390m付近		左		
被災要因	土砂流入（道路から）		土砂流入（溪流から）		盛土流失
	のり面崩壊		護岸洗掘		その他（ ）
対象土砂	土砂の性質	土砂	マサ	花崗岩	片麻状花崗岩
	基盤岩	花崗岩	片麻状花崗岩		その他（ ）
既設対策工他	なし				
コメント	流出した土砂は線路脇の柵で停止し、細粒部（マサ）が一部線路脇に堆積した。流路工及び線路横断水路の新設が必要である。また、谷止工の新設が必要である。				
必要対策工	流水路工	浚渫工	谷止工	山腹工	災害発生リスク (250mm)
	◎		◎		大

写 真



流出した礫は柵で停止している



礫の堆砂状況

